

各州概要

ニュー・サウス・ウェールズ州 (NSW)

ニュー・サウス・ウェールズ州は、オーストラリア最大の州で、人口、州内総生産ともオーストラリア全体の 1/3 を占めており、様々な業種の多国籍企業のアジア・オセアニア地域本部が数多く誘致されている。これまで州経済を牽引してきた住宅投資は減速しており、堅調に推移してきた個人消費にもかげりがみられ、経済成長率見通しは下降修正された。

NSW 州産業別内訳 (単位：%)

産業	シェア
農業	2.0
鉱業	1.7
製造業	12.1
金融・保険業	10.3
不動産関係業	13.6
建設業	6.5
ホテル飲食業	2.5

(出典 ABS2003-2004)

NSW 州経済見通し (単位：%)

	03/04 (実績)	04/05 (予算編成時)	04/05 (中間見通し)
実質 GSP 成長率	2.0	3.25	3.0
年間失業率	5.6	5.25	5.25
雇用増加率	1.4	1.25	1.25
消費者物価上昇率	2.1	2.5	2.75
賃金上昇率	3.8	3.75	3.75

(出典：NSW State Government 2004-05)

ビクトリア州 (VIC)

ビクトリア州の面積は全オーストラリアの訳% (日本の本州よりやや狭い)、人口は約 497 万人、州総生産はオーストラリアの GDP の約 1/4 を占め、いずれも NSW 州について大きく、シドニーとならぶオーストラリア経済の 2 大中心地のひとつです。好調な経済に支えられ失業率は 2004 年 5 月に最低水準 5.4% を記録するなど歴史的な低さで推移している。

VIC 州産業別内訳 (単位：%)

産業	シェア
農業	3.3
鉱業	1.4
製造業	14.9
金融・保険業	9.0
不動産関係業	8.5
建設業	6.2
ホテル飲食業	1.7

(出典 ABS2003-2004)

VIC 州経済見通し (単位：%)

	03/04 (実績)	04/05 (予算編成時)	04/05 (中間見通し)
実質 GSP 成長率	3.7	3.25	3.25
年間失業率	5.6	5.5	5.75
雇用増加率	1.3	1.5	1.75
消費者物価上昇率	2.2	2.0	2.5
賃金上昇率	1.8	3.5	3.5

(出典：ABS2004-05)

クイーンズランド州 (QLD)

クイーンズランド州における主な産業は農畜産業及び観光などのサービス業によって支えられている。製造業、金融業は、他州比で遅れている。QLD 州は気候及び自然条件に恵まれており、グレートバリアリーフ (大珊瑚礁) があるなど観光資源が大変豊富。州経済活動は、一般家計消費、住宅、ビジネス投資がそれぞれ伸長したことにより好調。州経済の好調に支えられ、就労者数の増加も見込まれることから失業率は下がる見込み。

QLD 州産業別内訳 (単位：%)

産業	シェア
農業	4.4
鉱業	6.7
製造業	9.9
金融・保険業	5.4
不動産関係業	9.2
建設業	8.0
ホテル飲食業	2.9

(出典 ABS2003-2004)

QLD 州経済見通し

(単位 : %)

	03/04 (実績)	04/05 (予算編成時)	04/05 (中間見通し)
実質 GSP 成長率	4.0	4.25	4.25
年間失業率	6.25	6.25	5.5
雇用増加率	3.3	2.25	4.0
消費者物価上昇率	2.25	2.25	
賃金上昇率	3.1	4.0	4.0

(出典 : Mid Year Fiscal and Economic Review 2004-05)

南オーストラリア州 (SA)

南オーストラリア州は面積が 98 万 4,337 平方キロ(全オーストラリアの 13%、日本の約 2.5 倍) 人口は約 153 万人でそのほとんどがアデレードに位置している。主な産業としてはワインなどの食品産業、自動車、自動車部品などの製造業が盛ん。2004 年 2 月アデレードとダーウィンを結ぶ大陸横断鉄道が開通しダーウィン経由でアジアへの輸出増進を期待したが、予想より大きく下回る結果になってしまった。

SA 州産業別内訳

(単位 : %)

産業	シェア
農業	6.0
鉱業	2.0
製造業	14.0
金融・保険業	7.0
不動産関係業	9.0
建設業	7.0
ホテル飲食業	2.0

(出典 ABS2003-2004)

SA 州経済見通し

(単位 : %)

	03/04 (実績)	04/05 (予算編成時)	04/05 (中間見通し)
実質 GSP 成長率	4.3	2.5	2.5
年間失業率	-	-	-
雇用増加率	1.4	0.75	1.25
消費者物価上昇率	3.0	2.0	2.5
賃金上昇率	-	-	-

(出典 : Mid Year Fiscal and Economic Review 2004-05)

西オーストラリア州 (WA)

西オーストラリア州経済は鉱業を中心とする天然資源の開発及びその輸出に支えられている。貿易に占めるアジア地域への依存度は高く、輸出総額の5分の1は日本へ輸出されている。空前の資源ブームにより、資源開発のため、ビジネス投資成長や輸出増加が州経済を支え2003/04年間経済成長率は7.5%まであがりました。引き続き住宅投資及び公共投資が堅調に成長すると見込まれている。

WA 州産業別内訳 (単位：%)

産業	シェア
農業	4.6
鉱業	17.8
製造業	9.0
金融・保険業	4.7
不動産関係業	10.2
建設業	8.2
ホテル飲食業	1.6

(出典 ABS2003-2004)

WA 州経済見通し (単位：%)

	03/04 (実績)	04/05 (予算編成時)	04/05 (中間見通し)
実質 GSP 成長率	7.5	4.5	5.0
年間失業率	5.7	5.75	5.0
雇用増加率	1.7	2.25	2.5
消費者物価上昇率	2.1	2.0	2.5
賃金上昇率	3.2	3.25	4.0

(出典：Mid Year Fiscal and Economic Review 2004-05)

タスマニア州 (TAS)

タスマニア州の経済規模は全豪の中で一番小さく人口も少ないことから同州経済は他州および、国外に大きく依存している。豊かな自然を背景に農林業、水産資源を利用した産業が盛ん。その他観光およびエネルギー関連投資、州政府のインフラプロジェクトによって支えられており、良好な経済状態により州人口の増加、失業率減少が見込まれる。

TAS 州産業別内訳 (単位：%)

産業	シェア
農業	6.0
鉱業	1.0
製造業	14.0
金融・保険業	7.0
不動産関係業	8.0
建設業	6.0
ホテル飲食業	3.0

(出典 ABS2003-2004)

TAS 州経済見通し (単位：%)

	03/04 (実績)	04/05 (予算編成時)
実質 GSP 成長率	6.0	3.2
年間失業率	7.0	6.7
雇用増加率	4.5	2.4
消費者物価上昇率	2.4	2.3
賃金上昇率	-	-

(出典：Mid Year Fiscal and Economic Review 2004-05)

北部準州 (NT)

北部準州は人口わずか 20 万の非常に小さな経済区域、準州総生産額はオーストラリア全土 GDP の約 1%にとどまる。北部準州経済は近年観光業は低調であるが、天然資源ビジネスを主要とするビジネス投資に支えられ堅調に推移している。

NT 準州産業別内訳 (単位：%)

産業	シェア
農業	3.1
鉱業	19.9
製造業	3.6
金融・保険業	2.9
不動産関係業	8.9
建設業	7.6
ホテル飲食業	2.8

(出典 ABS2003-2004)

NT 準州経済見通し (単位：%)

	03/04 (実績)	04/05 (予算編成時)	04/05(中間見通し)
実質 GSP 成長率	0.4	5.8	5.8
年間失業率	-	-	-
雇用増加率	2.2	2.9	2.9
消費者物価上昇率	1.2	2.2	2.2
賃金上昇率	-	-	-

(出典 : NT State Government Mid Year Report 2004-05)

首都特別地域 (ACT)

首都特別地域は首都キャンベラ設置の際に計画的に開発された地域で、依然として特別地域と呼ばれる人口約 32 万人の地域。同地域は他州と異なり行政機能が主な産業となっている。

ACT 産業別内訳 (単位：%)

産業	シェア
農業	-
鉱業	-
製造業	2.0
金融・保険業	4.0
不動産関係業	14.0
建設業	8.0
ホテル飲食業	2.0

(出典 ABS2003-2004)

ACT 州経済見通し (単位：%)

	03/04 (実績)	04/05 (予算編成時)	04/05 (中間見通し)
実質 GSP 成長率	1.5	3.0	3.0
年間失業率	3.9	-	-
雇用増加率	0	0.75	0.75
消費者物価上昇率	2.6	2.0	2.0
賃金上昇率	3.6	3.5	-

(出典：Economic Analysis of Major Project ACT Department of Treasury)